



Contents:

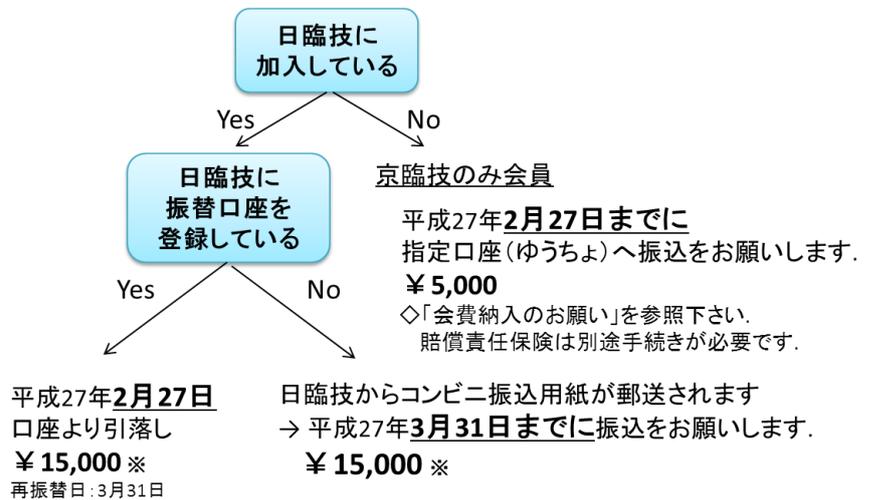
年会費納入について	1
青嶋俊江先生 瑞宝双光 章受章記念式典	2
事業報告	2
第6回理事会議事録	3
第7回理事会議事録	5
第8回理事会議事録	7

1

お知らせ

平成 27 年度 年会費納入について

年会費納入についてご確認ください。



※京臨技会費は日臨技会費とまとめて日臨技で回収されます。

京臨技年会費	¥5,000
+ 日臨技年会費	¥10,000
<hr/>	
合計	¥15,000

会員の皆様に「平成 27 年度会費納入のお願い」をお送りしています。京臨技では、各分野の研修会開催、精度管理事業および医療推進事業など、臨床検査技師や京都府民のために尽力してまいります。技師会の運営にご協力をお願いいたします。

尚、平成 27 年度会員証の発行は 4 月以降となります。ご了承ください。

発行所 (一社)京都府臨床検査技師会

発行責任者 白波瀬 浩幸
 編集者 庄司 月美
 〒606-8395 京都市左京区
 東丸太町9-1マンパワービル 3F
 TEL・FAX 075-752-5090
 E.mail : kamt-office@umin.org
 URL : http://plaza.umin.ac.jp/kamt/
 会員専用ページ: ID kamt PW kyoringi

<会員登録内容を変更される場合>

京臨技ホームページより会員登録用紙をダウンロードし、ご記入のうえ、事務局まで FAX または郵送ください。

日臨技に加入されている方は、日臨技へも別途手続きをお願いいたします。

2

Report

青嶋俊江先生 瑞宝双光章受章記念式典

平成 26 年 11 月 1 日
ウエスティン都ホテル京都

当会元会長の青嶋俊江先生が、平成 26 年春の叙勲にて「瑞宝双光章」を受章され、当会主催の受章記念式典ならびに祝賀会を開催致しました。発起人は、白波瀬会長をはじめ歴代会長（現顧問）にて、当会のOBの先生方にお知らせし、役員OBの先生方や青嶋元会長の職場の先生方 14 名様に、ご臨席を賜りました。またサプライズとして、公益財団法人HLA研究所所長の佐治博夫先生をお招き致しました。式典では、佐治先生からご祝辞を賜り、今井前会長の乾杯にて、祝宴となりました。各テーブルでは、皆様の古き思い出話に「華」が咲き、時間が過ぎるのを忘れるひとときで、暖かく和やかな祝宴となりました。「臨床検査技師は縁の下の力持ち。地味でも誇りを持って。」という青嶋元会長のお言葉が大変印象的でありました。（文、中村和彦）

臨床検査技師の誇りをもって



上) 青嶋俊江先生

平成 26 年 10 月 25 日

検査と健康展 京都保健衛生専門学校

昨年に引き続き、日臨技主催「全国検査と健康展」を京都保健衛生専門学校で開催しました。健康チェックは血管年齢・骨密度・尿検査（pH・糖・蛋白・潜血・ケトン・ビリルビン・ウロビリノゲン）・簡易ヘモグロビン・体組成（インボディ）を実施し約 80 名の参加でした。臨床検査専門医による検査説明と健康相談には、約 70 名の参加でした。検査説明には日本臨床検査専門医会より佐守友博会長ほか 2 名の医師を派遣していただき、また検査説明の場に理事 3 名も同席し検査説明の実際を研修させていただきました。会場入り口では臨床検査振興協議会編の「臨床検査を目指す皆様へ」DVD を繰り返し放映し、また日臨技と振興協議会より提供されたクリアファイルや各種資料を配布し多くの一般市民の方々に臨床検査の紹介をしました。（文、小澤優）

3

Report

臨床検査イベント

衛生思想事業の一環として開催・参加しました。



検査説明・健康相談の様子

臨床検査専門医の先生方と御協力いただいた技師会員の皆様



2014 年度医療推進協議会イベント 平成 26 年 11 月 9 日 みやこめっせ

地域包括ケアシステム～認知症を中心に～というテーマで行われたイベントで、京臨技では検査体験展示（顕微鏡による血液像観察）とパンフレット及び DVD を用いた一般市民への検査内容説明などを行いました。当日業務のために京臨技会員からのボランティア参加者を募り、4 名の応募があり、当日は 2 名の理事と合計 6 名体制で当たりました。顕微鏡による血液像観察では、小さなお子様からご年配方まで 50 名程の方に参加していただき、血液像の説明を行いました。また、これらとともに検査案内、臨床検査技師の仕事の紹介等のグッズを配布し臨床検査の広報を行いました。



今後も臨床検査技師の知名度のアップや臨床検査技師が京都府の医療推進の一躍を担っていただけるように、京臨技公益活動の一つとして、イベント参加への継続が必要と考えます。（文. 中村美保）

平成 26 年度京都府臨床検査技師会 第 6 回定例理事会議事録

日時：平成 26 年 10 月 9 日(木) 18:30～20:35
場所：京臨技丸太町事務所
議長：白波瀬浩幸 書記：井上和子
出席理事：白波瀬浩幸・小澤 優・荻野和夫・四方 学・林 孝俊・青山絹子・高嶋 徹・中村和彦・藤崎 智・山田宣幸・鮎川宏之・井上和子・小池正穂・庄司月美・藤内千歳・中村美保
欠席理事：豊山浩祥・笹田裕司・小原伸之
出席監事：江見安一・早瀬泰行
欠席監事：
会長招集者：清井健司・山方けい子

【議事録確認】

平成 26 年度(一社)京臨技第 5 回理事会議事録確認(別資料)・・・承認

【報告・連絡事項】

1 京臨技役員行動報告(白波瀬)(別紙参照)
平成 26 年 9 月 20 日(土) 日臨技近畿支部内連絡会議 神戸国際会議場
出席：白波瀬・小澤・荻野・庄司・多気
以後予定事項
平成 26 年 10 月 14 日(火) 臨床検査振興協議会広報委員会
日衛協近畿支部 小澤
平成 26 年 10 月 25 日(土)～27 日(月) 平成 26 年度地域ニューリーダー育成講習会 高嶋
平成 26 年 11 月 01 日(土) 青嶋元会長受章祝賀会 ウェスティン都ホテル 役員(後述)

2 日臨技報告(小澤)&日臨技近畿支部報告(白波瀬)
①会員数 53,561 人(8 月 10 日現在)(昨年度末 52,572 人)
昨年より 1,000 人増
京都府は、現在 868 名に増加(昨年は 840 名)
②検体測定室講習会
以前の資料参照 前回より継続報告

この講習会は他業種(薬剤師・栄養士など)が検体測定室を開設するに当たっての講習会ということになる。

③検体測定室サーベイ

外部精度管理を受ける事に関して、サーベイを日臨技と専門医委員会で協力して行う。

日臨技精度管理事業・データ標準化事業システム(JAMTQC)を使用するかという話になる。(後述)

④平成 26 年 10 月 11 日(土) 日臨技理事会(小澤欠席：業務の都合により)

教本シリーズのロゴマーク

日臨技より報告。教本シリーズ作成中だが(資料なし)、表紙に使用するイメージしやすいロゴマーク募集(簡単な手書きでもいい)。締切りは 10/20。最終的にはプロが完成させることになる。

⑤日臨技近畿支部内連絡会議(別紙参照)

議事概要

1. ニューリーダー研修会についての日臨技報告。
2. 近畿医学検査学会(神戸市)において、今回初めて新しい試みとして、ポケット版のプログラムを配布せず、WEB方式のプログラムを採用した。
この学会で日臨技システムに障害発生、約 1,400 名の参加の集計に影響が出た。メールでの確認を行ったが、各自参加登録できてくるか確認のこと。
3. 来年の近畿支部学会は、平成 27 年 10 月 17(土)～18 日(日)に大阪国際交流センターで開催される。大阪の技師会の運天会長が学会長となる。
4. 平成 28 年(再来年)の秋(8/30 予定) 全国学会が神戸で開催されるが、IFBLS 国際学会との併催となる。そのため近畿支部学会は 5 月頃に、和歌山市で開催される。

決議事項及び継続事項

1. 近臨技シンポジウム打ち合わせ会議

毎年 12 月第 1 週土曜日にシンポジウム打ち合わせ会議が開催されている。
交通費に 40～50 万円掛かり、今までは近臨技補助が出ていたが、現在は補助なく、都道府県の負担が多くなってい

るため、大阪からの提案で集合しての会議は中止の方向で考える。大阪では開催されるが、それ以降は学会の時に集まるか、メールやり取りとなり、打ち合わせ会議そのものがなくなる可能性がある。大阪に関しては、済ませた方はしなくていいです的な感触。

2. 支部学会表彰

3. 認証施設がなかなか増加しない。5万円は高額で払いにくい。分納性がいいのではないかと、年1回の精度管理参加費の値上げでカバーしてはどうかという意見あり。(後述)
4. 来年の全国学会は佐賀県担当で、福岡県で開催。学会テーマは「佐が創未来」。近畿支部から経験3年目の若手技師1人を選出ということで、京都から京都大学の松岡さんが参加される。

⑥旧近臨技OB会

継続と会長には間瀬元奈良県会長が就任となった。(京都からは湯浅元会長)

近臨技OB会の資格は、近臨技の幹事会或いは近臨技の役員経験者

3 総務部(小澤)

- ① 10月定期発送：9月26日(水) 行事予定・研修会案内を施設連絡責任者と賛助会員へ送付
- ② 11月定期発送予定：10月27日(月) 行事予定・研修会案内を施設連絡責任者と賛助会員へ送付予定。他の送付物の確認必要。まだ準備中だがこの時に全会員宛に会報を発行予定(白波瀬会長より)
- ③ 10月・11月行事カレンダー発行(小池)

4 事業部&学術部

- ① 新人・転入会員研修会(笹田・藤内) 終了報告
平成26年10月3日(金) ホテル京阪京都(別紙参照)
参加数：新入・転入27人 研究班10人 理事・事務局18人
- ② 第30回京臨技精度管理調査(豊山欠席)
サンプル発送：平成26年10月21日(火) 報告会平成27年3月7日(土) 予定
- ③ 全国検査と健康展(小澤・小池・庄司)(別紙参照)
平成26年10月25日(土) 京都保健衛生専門学校 理事打ち合わせ前日16:00、開催10:00
・研究班からの応援5人(人数は充分足りている) 去年と同じ流れで行う
・事前の打合わせはし難いので当日の朝に実務員に流れを説明(実施要項、名簿を配信)
・手の空いている理事は午後からでも良いので参加のこと
・くらしと健康展と共に、臨床検査の啓発の資料を用意しておく
・配布する約300円の液晶体温計の実物の回覧を行う
- ④ くらしと健康展(小原・井上・中村(和))
平成26年10月26日(日) 京都府医師会館
・研究班からの出務者への案内(6名)氏名、連絡先を確認し、会場整理などの役割分担
今年初めて希釈法で行うので、朝の段取り・練習が必要
・人数が足りるか?最終人数調整必要。前回のようにするならA1cだけで4人必要
ボランティア参加はなし。参加可能な理事は参加のこと
・集合時間→未定
・使用機器→小原理事の施設で使用するものなので、小原理事の施設で機器確認と打ち合わせ。血糖は機器4台を使用。
・マイクロピペット→貸出は保健衛生。井上が取りに行く。
・チップ→マイクロピペット製品名をメールで知らせるのでそれに合わせたチップを購入。
・医療廃棄物の処理→検討項目。針捨等。45ℓ廃棄物容器を

2箱用意。ゴミ袋も用意。

- ・くらしと健康展のA1cは医師会から依頼されて行う。医師会と糖尿病協会の打ち合わせができていないか確認。

⑤ 第25回北部学術発表会(四方・小池)

平成27年1月17日(土) 福知山交流プラザききょう
一般演題(YIA含む)、特別講演、市民公開講座、情報交流会

・25回目、駅前の会場

地元の高校生・中学生に日臨技ビデオを見てもらい、臨床検査技師の活動・研究や、学校や病院についてもお知らせする。今後も継続していく。

1. 若い人に撮影現場などの面白い話を特別講演として話してもらおう。新入転入会員研修会の時に話してもらったように、技師がどのような状況に置かれているのか知らない技師も多いので(新人だけでなく)、そういう情報を提供して自分たちで考えてもらう。
2. 福井の血清班：高校や中学校に出向いて技師としてのHIVの啓発の話をしてもらう。一般演題・新人向けの質問を募集。

【委嘱・承認事項】

1 会員動向別紙・・・・承認

会員総数1,014名 9月30日現在
9月度 継続入会1,012名・新入4名・再入0名・退会1名・転入0名・転出1名

2 後援依頼・・・・承認

①事業名称：第13回病理・細胞診セミナー

主催団体：サクラファインテックジャパン株式会社

講師：細胞診指導医及び臨床検査技師

開催期日：平成27年1月17日(土)

開催場所：大阪市立総合医療センター さくらホール

他の共催、協賛、後援団体等：近畿支部の全ての各地臨技(予定を含む)

協賛金：なし

参加費：無料

・近臨技が解散したため、近畿7府県へ後援依頼。

・会員の利益につながる講演である。

②日本放射線技術学会事務局。市民公開シンポジウムの名義貸しの後援(昨年は回覧)。

開催要項：平成26年12月13日(日)メルパルク京都で市民公開講演・公開シンポジウム

「肺の生活習慣病『COPDを知っていますか』息苦しいと困りますよね」

【検討議案】

1 青嶋俊江元会長「瑞宝双光章」受章祝賀会(中村)(資料配布)

テーブルの配置など、会場の下見を行った。最終人数と名簿をkamt-rijiに流す。

・開催日：平成26年11月1日(土) 16:00開場 18:30閉会

・会場：ウェスティン都ホテル京都

2 検査説明と相談の出来る検査技師養成講習会(別紙参照)進捗状況報告、各種書類の確認と、申込期間の決定など

・後援依頼：医師会、府の病院協会など。全部揃ったらHPに載せる。HPでダウンロードできるようになる。

・案内状：案内状にプログラムを載せる。次の発送日に全員に配布予定。

・発送日：要検討。

・締切：11/1~11/30の1か月間。他の地域に聞くと応募が多く、早期締切になるか?

- ・募集人数：30名になっているが40名でも可。理事の申し込み可。定員になったらHPで定員になった旨表示する。
- ・申込方法：メールかFAX申込。
- ・修了証書：当日渡す。
- ・実務委員：高嶋理事だけだと大変なので、補佐が必要。

3 日臨技の精度保証施設認証申請について

申請可能施設一覧受領、今後の働きかけをどうするか。

- ・京臨技として推奨するのか否か、このまま現状維持なのか、方向性を決める。→現状維持。
理事の施設が取得していないのに広めにくい。医師がどう見ているか？精度管理を行われていないデータは信頼されない。
- ・京臨技の現状：京臨技の活動は弱い。今回の認定施設の名簿によると京都市は2施設（前は1施設）計3施設。精度管理＝認証ではない。精度管理だけでいいと思っている施設が多い。京臨技はJAMTQCを今まで申し込んでいない。各施設から日臨技に申込なので、京臨技がJAMTQCに入っておくほうが施設としては申しやすい。多い府県は何十施設も受けてある。申請可能施設数は、京都で70～80施設あると考えられる。
- ・費用：2年間で5万円、これがハードルとなり、各施設が踏み出せないでいる一因である。施設長に対して検査技師が5万払ってほしいとは言いがたい。そういう理由で京臨技会長としては推奨したくない。精度管理+1～2万であればもっと受けるかもしれないが、決定は日臨技が行っている。
- ・メリット：取っても何のメリットもないと思っているから取らない？取っている施設の声としては、①データをまとめなくてはいけなくなるので精度管理の意識を高めた。②モチベーションが上がる。③楯をもらえる。④一般の方にはアピールできる。
- ・対策：施設連絡者会議で、精度の説明+認証を取るこの意味の話は議題にするのはどうか？京都で取っている施設（綾

部市立病院）の話がよい。この認証制度を知っている人も多いので、経験や、良くなった点、使用法などの話をしてもらうと、自施設でも取ろうという施設が出てくる筈。もっとしやすい方式を日臨技も考える。たくさん施設が参加できる可能性があるから費用を安くしてほしいが、5万円払っている所があるので無料にはならない。

【その他意見交換】

1 京臨技の会員証の扱い

原則、会員証の確認が必要。今年から、京臨技の会員参加数を把握するため、研修会開催に際し京臨技会員参加数を正確に報告してもらっている。

会員証不携帯届：日臨技・京臨技両会の会員証を持って来ない時に提出するもので、非会員が提出するものではない。

京都府の研修会参加：

- ①日臨技+京臨技会員（京臨技会員証に日臨技の番号も記載）→無料。
- ②京臨技のみの会員→無料。
- ③日臨技のみの会員→無料。

本来は京臨技非会員として3,000円徴収だが、日臨技から5万円の補助が出ているため（どの研修会が対象かは区別できない）、徴収を免除している。今年はこちらか入っていれば無料。京臨技の場合、他府県の日臨技委員会からも参加費は頂かないのは上記理由による。来年からは日臨技のみの会員が京臨技行事に参加する場合は参加費が発生するようになる？（来年からは参加人数によって1人500円の補助になる？）

④臨床検査技師だが、両会とも非会員→3,000円

⑤その他（他職種、メーカー、一般人等）→規定なし。

問題点：日臨技・京臨技の両会費を払っている者としては、日臨技の会費だけで京臨技の研修会に無料で参加できるのは不公平感がある。そのため、日臨技のみの人には京臨技にも入ってもらうように勧めている。日臨技のみの会員が多くなると会費を徴収することになる。

平成26年度京都府臨床検査技師会 第7回定例理事会議事録

日時：平成26年11月13日(木)18:30～20:00

場所：京都保健衛生専門学校

議長：白波瀬浩幸 書記：小原伸之

出席理事：白波瀬浩幸・小澤 優・荻野和夫・四方 学・林 孝俊・豊山浩祥・青山絹子・中村和彦・藤崎 智・山田宣幸・鮎川宏之・井上和子・小池正穂・小原伸之・庄司月美・藤内千歳・中村美保

出席監事：江見安一・早瀬泰行

欠席理事：高嶋 徹・笹田裕司

欠席監事：

会長招集者：田畑勝好・湯浅宗一・山方けい子

【議事録確認】

平成26年度(一社)京臨技第6回理事会議事録確認(別資料)訂正【報告・連絡事項】の2-④ 標本シリーズ→教本シリーズへ訂正・・・承認

【報告・連絡事項】

(1) 京臨技役員行動報告(別紙参照)

平成26年10月14日(火) 臨床検査振興協議会広報委員会(日衛協近畿支部) 小澤

平成26年10月21日(火) 第30回京臨技精度管理資料発送(京都保健衛生専門学校) 豊山

平成26年10月25日(土) 全国検査と健康展(京都保健衛

生専門学校) 小澤・小池・庄司

平成26年10月25日(土)～27日(月) 平成26年度地域ニューリーダー育成講習会 高嶋

平成26年10月26日(日) くらしと健康展(京都府医師会館) 小原・井上・中村(和)

平成26年11月01日(土) 青嶋元会長受章祝賀会(ウェスティン都ホテル) 役員

平成26年11月09日(日) 医療推進協議会イベント(みやこメッセ) 中村(美)・山田

平成26年11月10日(月) 第34回近畿支部臨床検査大会(シェラトン都ホテル大阪) 小澤

(2) 日臨技報告(小澤)&日臨技近畿支部報告(白波瀬)

①日臨技と日臨技支部主催の学会・研修会の参加登録については、日常研修会の通信ソフトはデータが消える恐れがあるので利用しないようお願いいたします。(前回理事会で一部報告済み)

②検体採取講習会(予定)

平成27年1月24日(土)・25日(日) 関西医科大学枚方キャンパス(予定)

平成27年2月28日(土)・3月1日(日) 関西医科大学枚方キャンパス(予定)

平成27年3月7日(土)・8日(日) (変更) 関西医科大学枚方キャンパス(予定)

受講料10,000円、定員は300名、三年間は日臨技主催、

以降は知臨技開催の予定

③平成 28 年度日臨技近畿支部医学検査学会の会期変更願い
(和臨技より)

日程：平成 28 年 5 月 14 日(土)～15(日)和歌山市開催 近
畿支部幹事会承認済み事項

④高度先端的医学セミナー案内

平成 26 年 11 月 29 日(土)日臨技会館・・・割愛

⑤各賞受賞候補者推薦依頼・・・表彰委員会へお願いする
平成 27 年 2 月 10 日(火)必着

優秀論文賞：江上貴子さん(京都大学医学部附属病院)を推
薦する

「Guyon 管症候群の神経電動検査における検討」(Vol.63
No.1 41-47)

特別奨励賞推薦については、前回の全国学会の中で満 35 歳
以下が対象、各班長にメーリングリストで推薦者を募る(学
術部長から 7～10 日間で募る)

(3) 総務部(小澤)

①11・12 月度 京臨技行事予定作成(小池)

②11・12 月度 定期発送：10 月 28 日(火) 京臨技会報を
全会員へ送付

③12・1 月度 発送予定：11 月 26 日(水)

④第 4 回・第 5 回定例理事会議事録を WEB に掲載(増田班
長)

⑤青嶋俊江元会長「瑞宝双光章」受章記念祝賀会 11 月 1
日(土)

ウェスティン都ホテル京都にて開催 参加者 35 名

⑥荻野副会長の京都府保健医療功労者表彰決定通知受領

表彰式：11 月 13 日(木) 京都府公館レセプションホール

(4) 事業部 & 学術部

①第 30 回京臨技精度管理調査(豊山)

発送不手際によりサンプル凍結があったため血液、輸血のサ
ンプルは再発送する

精度管理調査回答締切りについて血液、輸血以外は予定通り
11/14(金)

再発送日：11 月 18 日(火)血液・輸血報告締切日：サンプル
到着後 2 週間とする

②全国検査と健康展(京都保健衛生専門学校)小澤・小池・
庄司(研究班参加 5 名)

臨床検査専門医会より佐守先生、松尾先生、宮崎先生にご協
力頂いた

検査体験受付者数 78 名、検査説明・相談数 69 名

平成 27 年度は保健衛生耐震工事のため学校での開催は不可
【要検討】

くらしと健康展と一緒に開催してはどうか?

③くらしと健康展(京都府医師会館)小原・井上・中村(和
理事参加：荻野・青山・藤崎・中村(和)・小原・井上・中村
(美)

研究班参加：6 名、協力参加：1 名(アークレーから 3 名協
援) 計 17 名で実施

血糖測定、A1c、414 名 機器準備で若干トラブルあった
が概ね問題なく実施

実行委員会で医師から来年は是非、参加者全員の A1c を実
施して欲しいとの依頼

来年：2015 年 10 月 25 日(日)開催予定

④検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会

京都府医師会より後援の承諾を頂き、現在 20 名の申込みあ
り(定員 30 名、締切は今月末)

⑤医療推進協議会イベント(みやこメッセ)中村(美)・山田
子供向けユニフォーム写真のアイデアは協議会本体で実施

顕微鏡観察と臨床検査広報を実施

⑥第 64 回日本医学検査学会(担当：佐賀県)から『微生物』
『病理・細胞』『生理』『管理運営』分野の一般演題座長候補

者推薦依頼あり

座長推薦は『微生物』山田班長・『病理・細胞』山口班長・
『生理』今川班長・『管理運営』荻野理事に決定 一般演題が
少ないので協力をお願いします

テーマ：『SAGA 創 未来』(さがそうみらい)

開催日時：平成 27 年 5 月 16 日(土)～17 日(日)

開催場所：福岡国際会議場、福岡サンパレス、マリンメッセ
福岡

⑦青島元会長受章祝賀会の報告を総務活動として事業報告を
ホームページに掲載

【委嘱・承認事項】

1 会員動向別紙・・・・・・・・承認

会員総数 1,022 名 10 月 31 日現在

10 月度 継続入会 1,019 名・新入 2 名・再入 1 名・退会

1 名・転入 1 名・転出 0 名

【検討議案】

(1) 平成 27 年度京臨技「研修会費」に関して

・今年度内に理事会決定し京臨技内外へ周知する

・来年度からの有料化を推進する

・研修会費徴収の基本的な考え方

*京臨技は、日臨技と京臨技の両方の入会を推奨する

*日臨技から助成金等の援助があるので、会員種別によって研
修会費徴収額の差別化を図る

・来年度の会費

“日臨技+京臨技=基本”

“京臨技のみ=×2 倍”

“日臨技のみ=×4 倍”

“日臨技+他臨技=×3 倍”

“非会員=×10 倍” “他府県地臨技のみ会員は非会
員扱い”

<例> 研修会費 500 円の場合

“日臨技+京臨技=500 円”

“京臨技のみ=1,000 円”

“日臨技のみ=2,000 円”

“日臨技+他臨技=1,500 円”

“非会員=5,000 円” “他府県地臨技のみ会員は非会
員扱い”

・チーム医療研修会等、他職種が参加可能な研修会での他職
種の扱いについて

“京臨技のみ=×2 倍” 扱いが妥当ではないか。

(その他の主な意見)

・差別化は必要、あまり細分化すると現場での運営に支障が
ある

・来年保健衛生専門学校が改修工事である、会場費捻出のた
めにも研修会費は必要

・参加証にバーコードを付けて確認は、コストがかかるため
現実的ではない

・他府県会員の研修会費は他府県と揃えるべきではないか?
近臨技が解消したため調整困難

・非会員の中でも入会資格の有無での差別化は、確認方法が
ないので無理である

・技師会への入会は個人の自由、研修会費での差別化は違和
感がある

・各研究班の意見を聞いて欲しい

・有料になると領収書の発行業務が必要となり、研究班の業
務が増える

・会員証の発行は 4 月には不可能なため、研修会は 4 月開催
が困難になる

・まずは身分による差別化をする

・研修会費は、理事会決議にて変更可能である

・次回以降の継続審議とする

(2) 第25回北部学術発表会(四方)

平成27年1月17日(土) 福知山交流プラザききょう
北部地区の中学校と高等学校に「臨床検査技師職の紹介企画」
を案内予定で文章は作成中

(3) 施設連絡責任者会議<事前申込制> 担当: 四方・林
今年は周知連絡事項が多数のため、施設連絡責任者に会議招
集をかけてもらいたい

日時: 平成27年3月7日(土) 12:00~13:50 ラン
チョン形式

場所: 京都市立医科大学基礎医学学舎1階

司会: 林

内容の提案

* 開会挨拶: 会長 10min

* 京臨技からのお知らせ(会長 or 副会長) 45min

会員種別と研修会での扱い、近臨技・他地臨技・近臨技との
関係、検体検査室の法改正のことなど、知って頂きたい事項
を伝達(資料作成)

* 「検査説明」 高嶋理事 20min (街角ラボの話)

* 「施設認証の経験」 四方副会長 20min

* フリートーク(例年あまり盛り上がりず) 10min

* 閉会挨拶 副会長 5min

・安田守議員の講演会は、3月実施は難しく5月に実施する
方向で話を進める

・一方通行な講習ではなくアンケート等と取ってはどうか?
会長に案を考えてもらう

【その他意見交換】

(1) 京臨技を一般向けにアピールするため「のぼり旗」を
作ってはどうか?

臨床検査振興協議会の広報委員会でのぼり旗を作る話がある。
出来たら配布されると思う。

京都府オリジナルののぼり旗を作ってはどうか? 中村(和)理
事に見積もりをお願いする。

(2) 新春懇親会を行うか? 2月20日、金曜日で開催予定、
賛助会員や各班長にも声をかける。

(3) 青嶋元会長受章祝賀会の御礼状はどうするのか?
技師会として作成する、また青嶋元会長の文章も同封するの
か本人に確認する。

平成26年度京都市臨床検査技師会 第8回定例理事会議事録

日時: 平成26年12月11日(木) 18:30~19:30

場所: 京臨技丸太町事務所

議長: 白波瀬浩幸 書記: 鮎川宏之

出席理事: 白波瀬浩幸・小澤 優・荻野和夫・四方 学・林 孝
俊・豊山浩祥・高嶋 徹・中村和彦・
藤崎 智・山田宣幸・笹田裕司・鮎川宏之・井上和子・小池正
穂・小原伸之・庄司月美・

藤内千歳・中村美保

欠席理事: 青山絹子・

出席監事: 江見安一・早瀬泰行

欠席監事:

会長招集者: 田畑勝好・山方けい子

【議事録確認】

平成26年度(一社)京臨技第7回理事会議事録確認(別資
料).....承認

【会長・副会長執務報告】.....未提出のため承認は次回
延期

【報告・連絡事項】

(1) 京臨技役員行動報告(別資料)

平成26年11月20日(木) 臨床検査振興協議会広報委員会
(日衛協近畿支部) 小澤

平成26年11月21日(金) 京都私立病院協会創立50周年
記念式典 白波瀬

平成26年11月22日(土) 滋賀臨技創立60周年記念・法
人化30周年記念式典 白波瀬

以後予定事項

平成26年12月13日(土) 第55回日臨技近畿支部医学検
査学会シンポジウム等に関する

打ち合わせ会 関西医科大学滝井病院

平成26年12月19日(金) 日臨技出版委員会 日臨技会館
小澤

日臨技全国情勢報告会、全国幹事の連絡会議があります。

日臨技へ改善などの意見があればメールで来週末(平成26
年12月20日) 辺りまでに

(2) 日臨技報告(小澤) & 日臨技近畿支部報告(白波瀬)

①臨床検査技師等に関する法律(昭和33年法律第76号)
の一部が改正についての意見募集

平成26年11月25日(火)までに日臨技事務局までメール
にて回答

②検体採取講習会の日臨技からの説明会日程調整の依頼
同 パブリックコメント意見募集案内.....終了済み

同 京臨技HPバナー掲載依頼

③第55回日臨技近畿支部医学検査学会シンポジウム等に関
する打ち合わせ会

平成26年12月13日(土)

④カプセル内視鏡研修会参加募集.....1名の参加要請あり
平成26年12月21日(日) 13時~16時30分

日本臨床検査技師会館 第1会議室

日臨技会員 3,000円、他 5,000円

⑤第64回医学検査学会運営部会(佐賀)
12/4付 一般演題申込数 379題と目標数 600題に未だ届
かない状況

一般演題申込期限を12月14日まで延長

⑥日臨技会費振替と会員データ送信予定について日臨技事務
局より返答

平成27年度年会費振替予定日 → 平成27年2月
27日(金)

2/27振替不能の場合の再振替日 → 平成27年3月
27日(金)

都道府県への入金データ配信 → 2/27振替分は3/9
以降の予定

3/27振替分は4/6以降の予定

尚、継続会員でコンビ二扱(口座未登録者)と、27年度か
らの再・新入会者の

コンビ二請求書は2月中旬に発送予定

到着後即入金された方の分でも第一回目の入金配信は早く
も3/7頃になり、

以後通常の間隔(約10日間位)での配信となります。

(3) 総務部(小澤)

①12・1月度: 京臨技行事予定作成(小池)

②定期発送: 11月26日(水) 12・1月度行事予定を京臨技

施設連絡責任者と賛助会員へ

研修会案内を京臨技施設連絡責任者へ送付した。

③1・2月度発送予定：12月25日(木)

④京都私立病院協会新春懇親会出席依頼

平成27年1月17日(土) 16時から18時30分

会場：京都ライイトンホテル 出席者：小澤

⑤日臨技学術「優秀論文賞」京臨技会長推薦を以下のとおりとした

「医学検査」掲載：第63巻 1月号

論文名：Guyon 管症候群の神経伝導検査における検討

著者名：江上 貴子 氏

日臨技学術「奨励賞」：臨床化学、一般、情報より推薦返事の有無を待ち無ければ、微生物分野より挙がっている以下のものを推薦する。

「2-step method による毒素産生 Clostridium difficile 検出の基礎的検討」

著者名：谷野 洋子 氏

⑥京都府臨床検査技師会 新春懇親会

平成27年2月19日(木) 18:00~21:00「ホテル京阪京都」会費：5,000円

⑦京臨技賛助会員平成27年度会費納入依頼

(4) 事業部&学術部

①第30回京臨技精度管理調査(豊山)

血液、輸血のサンプル再発送について

再発送日：11月25日(火)血液・輸血報告締切日：サンプル到着後2週間とする

②検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会

予定者30名で33名となる

③施設連絡責任者会議アンケート：検討議案の項に記載

④第25回京臨技北部学術発表会開催案内・広告協賛のお願い

平成27年1月17日(土) 福知山交流プラザききょう

⑤京都府医療推進協議会 第28回代表者会議

平成26年12月24日(水) 京都府医師会館 鮎川出席予定

【委嘱・承認事項】

(1) 会員動向別紙・・・・・・承認

会員総数 1,028名 11月30日現在

11月度 継続入会 1,025名・新入 2名・再入 1名・退会 0名・転入 0名・転出 0名

(2) 後援依頼

①事業の名称：“臨床検査セミナーin Kyoto”・・・・・・承認

主催団体：京都和光純薬株式会社

テーマ：「医師の相談に答えられる臨床検査技師へ」

開催期日：平成27年2月7日(土) 13:30~17:20

開催場所：ホテル京阪京都

共催：和光純薬工業株式会社

参加費：無料

②第14回 京都呼吸ケア研究会・・・・・・承認

京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学の先生よりの依頼

内容：特別報告と一般演題3題

開催期日：平成27年2月21日(土) 14:00~17:30

開催場所：京都リサーチパーク 西地区4号館 B1バズホール

京都市下京区中堂寺粟田町93番地 京都リサーチパーク4号館地下1階

連絡先：075-322-7800

共催：京都呼吸ケア研究会・帝人在宅医療株式会社・帝人ファーマ株式会社

京都医療用酸素株式会社

※日本医師会の生涯教育講座認定予定

参加費：医師 1,000円 その他 500円(学生無料：学生証提示)

③第50回京都病院学会の実行委員推薦・・・・・・承認

藤崎理事・青山理事・井上理事・藤内理事が担当

企画&運営に携わる主となる実行委員は藤崎理事にお願いする

【検討議案】

(1) 平成27年度京臨技「研修会費」に関して過去の会計報告(平成24年度~25年度)を含め、平成26年度(現時点まで)において決算書を提示しながら今年度も黒字収支の見込みと内容を小澤副会長より報告される。

研修会基本参加費の有料の是非についての検討

※前回の議論(有料化前提)から1つ戻る(有料の是非)検討となる。

・参加費を徴収する理由に関しては、会計収支が赤字である。それなりの学術活動(研修会提供)をするには、高名な先生や遠方の先生を招聘し活性化したい。

現在の京臨技の予算では賄えない。

・有料化に関して様々な意見がでても今後再検討にとなる。

・研究班や、会員からの意見収取も今後検討する。

・会員身分による参加費差別化の是非については今後再検討となる。

・この件に関しては次回以降の継続審議とする

(2) 第25回北部学術発表会(四方)

平成27年1月17日(土) 福知山交流プラザききょう

北部地区の中・高校生に「臨床検査技師職の紹介企画」を案内し、実際の臨床検査技師の仕事アピールする。当日はセンター試験と重なっているために参加者数は未定。

(3) 施設連絡責任者会議<事前申込制> 担当：四方理事・林理事

今回は周知連絡事項が多数のため、施設連絡責任者に会議招集をかけてもらいたい

日時：平成27年3月7日(土) 12:00~13:50 ランチョン形式

場所：京都府立医科大学基礎医学学舎1階

司会：林理事

アンケートは、久しぶりの調査となるので、今後、林理事と四方副会長と詰めていき、着実な内容にしたい。今後MLにても意見を伺う。チェック方式ではなく記述方式を検討中。

<内容の提案>

* 開会挨拶：小澤副会長 or 荻野副会長

* 京臨技からのお知らせ(小澤副会長 or 荻野副会長) ?min どの様な内容にするかは今後MLにて検討。

* 日臨技説明会 45min? (演者：日臨技専務理事の派遣予定)

* 「検査説明」 高嶋理事 10min (街角ラボの話)

* 「施設認証の経験」 四方副会長 20min

* 質疑応答 10min

* 閉会挨拶 林理事

(4) 京臨技のぼり旗作成について

横断幕の作成は?意見あり。これらも含めて次回の検討事項とする。

(5) 学術会計より

保健衛生専門学校が、来年度耐震工事のため、研修会場として使用できなくなる。

* 来年度の会場や費用に関してどうするのか?

* 各研究班で考えて頂くのか?

* 京臨技である程度場所提供を考えてあげるのか?

* 少し時間はあるが年度計画を立てる(平成27年3月頃)までには、理事会にて検討は必要かと思われる。次回以降の検討事項で。